

やる気いっぱい! 笑顔いっぱい! 元気いっぱい! かかやく山内西の子



武雄市立山内西小学校
学校だより 18号
令和7年12月17日発行
文責: 校長 松尾 寛

12月は人権月間で、校内での人権集会を行いました!

今月は、人権月間で差別や中傷による人権侵害をなくす取組が県内でも行われています。先日の日曜日は、人権フェスタ in たけおが北方公民館で行われました。その中で、人権標語の表彰式や高校生が伝えるヤングケアラーの話、講演「聴いてよ、子どもの声を」がありました。

6年本多凜帆さんの標語「心にカギをかけないで みんな

ではいろいろ 仲間の輪」も表示され、読み上げられました。

学校内では、12月5日に人権集会を行いました。以下のような内容で、子ども達は、どうすればお互いが相手を大切にして認め合えるかを考えました。



「わたしは〇〇〇のたからもの」に入る言葉を子ども達に問いかけ、一人一人が大切であると伝えました。



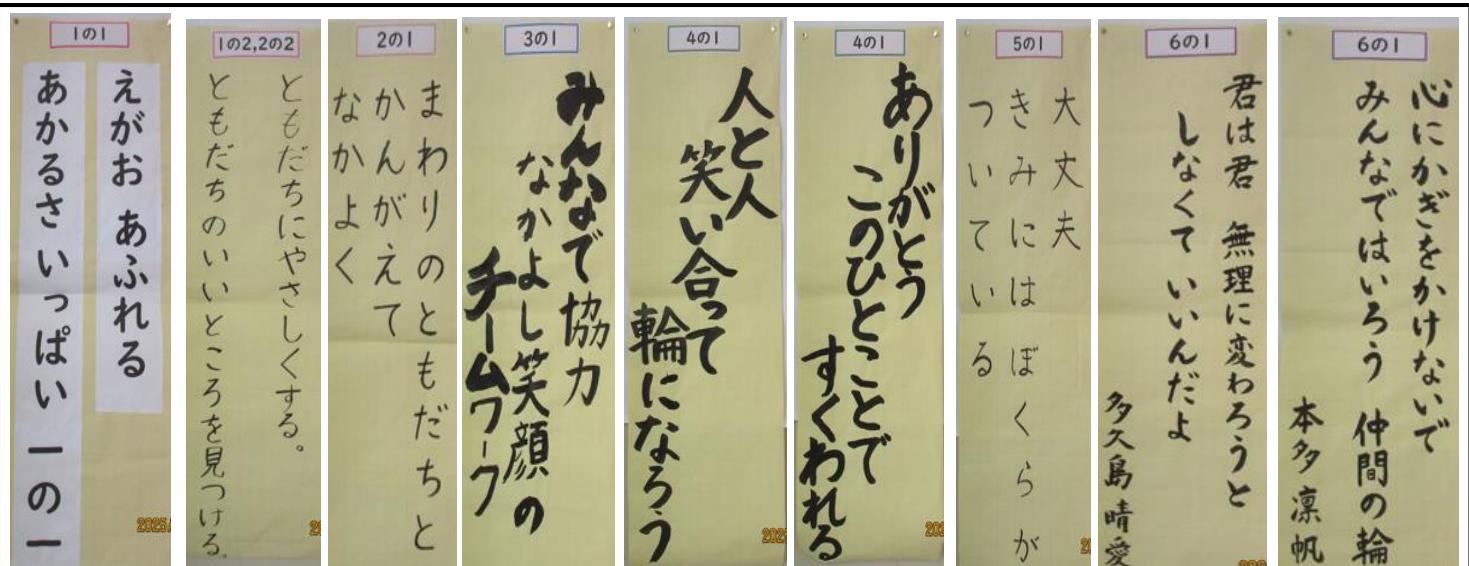
各学級で考えた、なかよし合言葉や、子ども達が応募した、人権標語入賞作品を発表しました。



多久島さん・小山田さんによる読み聞かせ「とべないほたる」を聞いたり、「ありがとうの花」を歌ったりしました。



「三尺三寸箸の話」で、互いに食べさせ合う気持ちと、我先に食べようとする気持ちが人の心の善悪の表れだと伝えました。



各学級で話し合って決めた、なかよし合言葉と、人権標語の入賞作品です。これを、実践していくことが大切です。

助産師の津上泰子さんに性教育の授業を行っていただきました！

12月8日に、6年生対象に性教育を助産師であり、ベビーマッサージイトオテルミー療術師である、津上泰子さんに行って頂きました。津上さんは、県の教育委員会が推奨する出前授業のメンバーで、これまで県内各小学校で授業をされています。授業では、子ども達の命が両親の精子と卵子が相当の確率を経て誕生したことを子ども達に伝えて頂きました。また、その大切な命をつないでいくために、子ども達の命に優劣はなく、それぞれが活躍できる未来があることを、ご自身の息子さんのサッカービー体験を通して語られました。お話を聞いて、子ども達が自分の命を向き合い、友だちの命を大切にしていくには、家族や教師の言葉かけが大きく影響することを感じました。本校が取り組んでいる、3つのえがお(あいさつ・返事、わかった・できた、友だちとの関わり)もその1つです。未来を生き抜く子ども達に如何にして自信につながる自己肯定感や、人の役に立とうとする有用感、ひいては将来の夢や希望をもたせられよう、2026年も山内西小の子ども達が笑顔輝く年にしましょう。



2025年、お世話になり、ありがとうございました！良いお年をお迎え下さい

4月から保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。子どもたち一人ひとりが笑顔輝くよう、取り組んできましたが、至らぬ点も多々あったかと思います。来年は、私

にとって干支で言えば丁度、6周り目となります。馬年にちなんで疾風の如く駆け回りたいと思います。

来年も宜しくお願ひします。良いお年をお迎え下さい。



左の写真は、2025年10月末まで

のえがおコインの合計です。12月

末に、子どもたちは新たなコインを

貯金します。新年にどれくらいの

えがお貯金になるか、楽しみです。

